

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型子ども支援センターたんぼぼ下江津		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 3月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合わせたプログラム(個別・集団) ★SST ★粗大運動・微細運動 ★ビジョントレーニング ★感覚・聴覚・視覚・触覚 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援に沿ったプログラムをスモールステップになるよう会議の中でアイデアや意見を出し工夫した支援 ・集団活動を週ごとに感覚に特化したプログラムを取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の支援会議を行い個別課題の実行・評価を話し合い全員が共通理解した支援を取り組んでいる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの経験や体験ができるよう屋外での活動や他事業所との交流 ・共同制作で作品展に応募 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇時に体験学習や様々な経験ができるような活動や公共マナー・自立支援に向けた取り組み(買い物学習・交通公共機関・調理活動) ・グループで共同制作で1つのものを作り上げることで楽しさや達成感を感じ社会性やコミュニケーション能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの希望の活動も取り入れてきたが今後子どもたちが計画を立て主体性や自主性に繋げたい。 ・創造力や表現力・集中力など育み感性や感覚の発達と他者かな褒められ自己肯定感につながるよう子どもたち主体で取り組んでいきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 視覚支援の充実 物理的構造化された環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた視覚支援(写真・絵カード・文字) ・おもちゃやおやつカードで要求の成功体験につながる。 ・学習・個別・活動のエリアが明確 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の視覚支援も多く刺激にならないよう視覚的構造化の工夫。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練等を実施しているが認識できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の通信やホームページに活動内容を掲載している通信も避難訓練のブログ掲載のお知らせでアイコンをつけ毎回様々な工夫をしてお知らせも弱い 保護者にも引き渡し訓練・防災食訓練で協力得ているが評価の時期の印象には残っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人間でのSNS(LINE/mail)でお知らせも今後検討通信に活動内容掲載。 今後、アプリ導入し活動内容の共有を図る。
2	<ul style="list-style-type: none"> 生活空間が適切であるが基準がない為評価のしづらさ 	<ul style="list-style-type: none"> 生活空間に関する評価項目お内容が抽象的で保護者が判断しづらい可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 学習スペースや活動スペース・クールダウンスペースの使い分けは設定できているが、スペースの区分や環境設定の意図がすべての保護者に十分伝わっていない可能性がある為、写真や通信等でわかりやすく発信していく
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会の参加 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なイベント(茶話会・ミカン狩りなど)親子参加型や保護者同士のお悩み会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 手作りデザートやおやつなどのバイキング方式で実施。親子参加でのクイズラリーでミカン狩りを楽しめることで好評。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		多機能型子ども支援センターたんぽぽ下江津				公表日	令和 8年 4月 1日				
		利用児童数				20名		回収数	18名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			1	・お子さんによると思うので。	適切な人数がわかりません			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16		1	1		事業所が2階のため、質問のバリアフリー化に対する対策は困難			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17		1		聴覚過敏のため騒がしい環境が子どもに心地よくはない	別室など環境整備はしている。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		ホームページ掲載			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18								
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18				・長期休みにさまざまな施設に連れていってくれる。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1		2		支援プログラムについての回答 口頭ではなく、ホームページ掲載の支援プログラムを配布検討			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18				・他の保護者との話す機会が設けられた(茶話会など)。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18				・連絡帳に様子など記入してくれる。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18				・定期的に行っていただけで、悩みを話せる場を設けてくれる。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				・先生とのコミュニケーションをとうとうとしているのが伝わる。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18								
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18				・連絡帳に丁寧に様子を書いてくださる。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18					
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・いつも子どもの発達段階や体調をよく見て、温かい支援をしてくださる。子どもはもちろんのこと、家族にとっても大きな支えです。本当にいつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型子ども支援センターたんぽぽ下江津				公表日	令和 8年 3月 12日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・構造上、2階にある為難しい部分もあるがフロア内はバリアフリー化されている。	・立地条件を除く ・動き回れるフロアと静かにできる部屋を区分けしての配慮が必要。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5						
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・毎日職員へヒアリング調査が行われている				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5						

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・申し送りノートの活用
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・就学への移行時に情報提供している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・管理者が代表で参加
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・保護者交流会・配布物により情報提供を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・送迎時に対応する事がある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・保護者交流会を開催している。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・連絡帳でのやり取りに限らず、LINEやメール等保護者に合わせた手段を使っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				